

きずな

基本理念

「信頼」と「貢献」

患者様の権利を尊重し、理解と納得に基づいた思いやりのある医療を行い、愛され「信頼」される病院を目指します。

地域の方々の健康増進と生命を守るために、また中核病院として地域の医療水準の向上に「貢献」します。

基本方針

- 1 医の倫理に基づき、すべての方々に平等に人格、権利を尊重し、心のかもった医療を提供します。
- 2 常に自己研鑽に努め、高度で質の高い医療を提供します。
- 3 病院内の各部門が相互に協力・連携し、安全な医療を提供します。
- 4 他病院、他診療所等と連携を図り、地域の医療の貢献に努めます。
- 5 医療を通して地域の方々に安心と信頼を得られるよう努めます。

CONTENTS November 2012

02 最近の小児の 予防接種について

看護部

04 第2回目の市民健康講座を 開催しました

診療技術部 臨床工学科

05 臨床工学技士が語る家庭用測定機器の正しい使い方 ～体脂肪計～

06 患者満足度アンケート調査の結果

08 高校生一日ナース体験事業 湖西市職員採用試験案内(市立湖西病院職員) 第4回市民健康講座開催のお知らせ

(小) 児科医師紹介

市立湖西病院 診療副部長

夏目 博宗

医学博士、日本小児科学会専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科(小児科)専門医
インфекションコントロールドクター

「7月から当院に赴任しています。地域の子どもの健康と成長のお手伝いをしたいと思います。」

Vol.

13

最近の小児の 予防接種について

小児科 夏目 博宗

9月からの不活化ポリオワクチン (IIVP)、11月からのジフテリア・百日咳・破傷風の三種+ポリオ不活化ワクチン (DPT-IIPV)の開始で、小児の予防接種は先進国のラインナップに少し近づきました。IPVとDPT-IIVP、数年前から接種可能なインフルエンザb型菌ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、そして、昨年から始まったロタウイルスワクチンの4種についてまず解説します。

不活化ポリオワクチン (IIVP)、ジフテリア・百日咳・破傷風の三種+ポリオ不活化ワクチン (DPT-IIPV)ですが、これにより、最近では約200万人にひとりの割合で発生していたポリオ生ワクチンによるワクチン関連ポリオ麻痺がなくなりました。ポリオワクチンは毒性の弱いポリオにかかることにより、こどもに免疫をつけるのですが、ひとによってはワクチンウイルスが体内で感染力を持つウイルスに変異して麻痺が出ることもあり、この30年間に日本ではポリオが発生していなかったため、最近ではワクチンによるポリオ麻痺が発生していたとい

う事実が問題視されるようになりました。この危険を重要視してすでに不活化ワクチンをこどもに接種する親が増えてきていました。ポリオ生ワクチンを接種したためにワクチン関連ポリオ麻痺に罹患し、下肢の麻痺による歩行困難などの一生続く障害が残るひとがいなくなることはポリオ不活化ワクチン導入の強い動機となりました。11月からは、DPT-IIPVとして4種類のワクチンを皮下注射として一度に受けることができるようになりました。予防接種の種類が増えつつある現状では、全体的な予防接種回数を減らすことができることも利点のひとつといえます。

インフルエンザb型菌 (Haemophilus influenzae type b: Hib)のワクチンいわゆるヒブワクチンですが、4年ほど前から開始されています。この予防接種の第一の目的は小児のインフルエンザb型菌による細菌性髄膜炎の予防です。細菌性髄膜炎は小児の感染症の中でも最も重症の病気のひとつで、Hibが原因のものは約60パーセントあります。死亡が数パー

セント、発達の遅れなどの脳の後遺症が30パーセントほどにおよびます。乳児期の罹患率が約3分の2、1歳から4歳までが3分の1です。乳児期の罹患が多いことから、このワクチンは生後2ヶ月から6ヶ月間に開始し、合計で4回接種を行うのが推奨される接種の仕方です。このワクチンの接種によりHibの髄膜炎にはほとんど罹患しなくなります。

肺炎球菌ワクチンは2年ほど前から開始されています。このワクチンの第一の目的は肺炎球菌による細菌性髄膜炎と細菌性髄膜炎の前段階ともいえる菌血症などの侵襲性肺炎球菌感染症そして中耳炎、肺炎の予防です。小児の肺炎球菌ワクチンには65歳以上の人が使用するワクチンとは全く異なるワクチンで、小児期に特に重要な7つの型の肺炎球菌に対する免疫をつけるワクチンです。肺炎球菌による細菌性髄膜炎は死亡が10パーセント、発達、知能、運動障害あるいは難聴などの後遺症が40パーセント程度といわれています。罹患年齢はインフルエンザb型菌による感染症と似ていて、乳児期が半数で4歳くらいまでがほとんどです。ワクチン接種により重症な肺炎球菌感染症にはほとんどかからなくなり、このワクチンは生後2ヶ月から6ヶ月までに開始し4回接種するのが推奨される接種方法です。

ロタウイルスワクチンは、ロタウイルス感染による胃腸炎の予防ワクチンです。ロタウイルス感染症は乳児期にかかる

と、嘔吐と下痢による脱水で重症となります。あらゆる年齢で罹患しますが、乳児期が最も重症になりやすく、年齢が上がるにつれて症状が軽くなる傾向があります。したがって、乳児期早期に免疫をつける必要があります。生後2ヶ月から接種が可能で、2回で終了のワクチンと3回で終了のワクチンの2種類があり効果は同等です。このワクチンの接種により、海外ではロタウイルス感染症による年間の入院数が以前のおよそ4分の1に減少したとの報告があり、小児、特に乳児にとつてはとても有用なワクチンです。

ワクチンの具体的な接種計画については、理想的な接種計画が感染症情報センターのホームページで公開されています。しかしながら、ポリオワクチンだけでも、すでにポリオの生ワクチンを1回接種してある場合、IPV単独ワクチンから接種を始めた場合、DPT-IIPV4種から接種し始めた場合が混在すること、さらに、ロタウイルスワクチンを接種する場合としない場合があることなどを考え、接種する医療機関でそれぞれ個別の接種計画を立てることが必要となります。

接種費用については、定期接種であるBCG、DPT-IIVP、麻疹・風疹、日本脳炎には費用補助があり、Hib、肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンは現在、国のワクチン緊急促進事業ということで補助が出ています。しかしながら、おたふ



くかぜ、水痘、インフルエンザワクチン、ロ
タウイルスワクチンは任意接種というこ
とで、自治体独自で補助が出ているとこ
ろが少数ある以外は費用の補助はあり
ません。今後定期接種とするための取
り組みが始まっています。

ところで、ワクチンで防ぐことのでき
る感染症に関しては、ワクチンの効果の
持続時間に限界があるということがわ
かってきました。乳幼児期にワクチンを
接種していても、その後約10年間に次第
にワクチンの効果がなくなっていくこと
です。すでに青年期での百日咳や風疹が
流行しだしている、小児期の感染症が青
年期感染症に様変わりしています。こ
うしたことを考慮し、百日咳は現在の
ジフテリア、破傷風の2種混合ワクチン
の時期に百日咳を加えた3種が望まし
いという考えが出ています。また、麻疹・
風疹は今年18歳になるひとを最後とし
て、4期の定期接種として平成20年度
から5年間の期間限定で高校生に接種
が行われてきました。今年度のMR4期
が終了すると22歳以下の年代のひと

べてが2回ワクチンを2回接種したこと
になり、22歳以下の人達のワクチンによ
る免疫が確実になり、青年期の風疹の
流行が抑えられることになりました。

ここで重要であるにもかかわらず、任
意接種の為に接種率が低迷しているワ
クチンである水痘とおたふくかぜのワク
チンについて宣伝しておきます。水痘ワ
クチンの目的は、水痘の数の減少といった
症状を軽くする目的のほかに、脳炎の
予防が主な目的のひとつです。水痘脳炎
は患者の約20%に後遺症が残る重症な
疾患で年間1万人に2〜3名かかります。
す。おたふくかぜワクチンの目的も、症
状の軽減はもちろんですが、数百人に1
人の割合で生じる難聴や、12歳以後に
かかると起こりやすい睾丸炎、重症な病
気である脳炎などを予防するという目
的があります。このふたつのワクチンは
非接種をして欲しいと思います。

さらに、もうひとつの重要なワクチン
にB型肝炎ワクチンについて説明しま
す。これは、現在ではB型肝炎母子垂直
感染予防として出生直後から保険診療
で行われています。B型肝炎ウイルスの
キャリアの母親から生まれた赤ちゃん
に、出生早期からB型肝炎ウイルスに対
するガンマグロブリンとB型肝炎ワクチン
を接種する方法ですが、これらの予防
処置が行われる前との比較ではB型肝炎
キャリアの母から生まれた児のキャリ
ア化率は10分の1に低下し効果をあげ
ています。しかしながら、キャリアの人

らの体液を介した水平感染があるこ
と、そして性感染症としての感染経路
が、平成11年には43%から平成20年
には66%と増加しており、水平感染と性
感染症を防ぐという意味で、乳幼児期、
あるいは思春期前にB型肝炎ワクチンに
よる予防接種を行うておくべき感染症
と考えられるようになってきています。
医療従事者では主に針刺し事故による
感染を防ぐという目的で、B型肝炎の
免疫がないひとは、就職時あるいは医療
系の学校に在る間に予防接種を受ける
ことが普通です。

最後になりますが、VPD(vaccine
preventable disease: 予防接種で防ぐ
ことができる病気)という言葉があり、
小児に限って言えば、小児期に接種でき
る予防接種のある病気ということにな
ります。さらにユニバーサルワクチンとい
う考えがあり、乳幼児期から小児全員
にワクチンを行い、小児の病気をできる
限り防いでいこうという取り組みが世
界的に行われていて、少し遅れていた日
本もこれに追いつきつつあります。日本
の場合予防接種は国が是非受けてくだ
さいと勧める奨励で費用補助のあるも
のと、任意接種で費用補助のないもの
がありますが、それぞれの予防接種の説
明をよく理解したうえで、ごどもさんに
は現在ある予防接種をできるだけ多く
受けていただき、病気の予防をしてほし
いということが小児科医としての願い
です。

日本小児科学会の予防接種の同時接種に 対する考え方

日本小児科学会

日本小児科学会は、ワクチンの同時接種は、日本の子どもたちをワクチン
で予防できる病気から守るために必要な医療行為であると考えている。
なお、同時接種を行う際、以下の点について留意する必要がある。

- 1) 複数のワクチンを1つのシリンジに混ぜて接種しない。
- 2) 皮下接種部位の候補場所として、上腕外側ならびに大腿前外側があげられる。(図参照)
- 3) 上腕ならびに大腿の同側の近い部位に接種する際、接種部位の局所反
応が出た場合に重ならないように、少なくとも2.5cm以上あける。

● 大腿接種部

● 上腕接種部

三角筋
中央部

大腿前外側部

床下接種の候補場所

上腕後外側
下1/3の部分

第2回目の市民健康講座を開催しました

看護部では平成24年度に市民健康講座を5回予定しています。1回目の「糖尿病とフットケア」に引き続き、第2回目は7/28(土)午後1時30分から午後3時まで「お口の健康を考える～いつまでも美味しく食べるために～」をテーマに開催しました。

15名の市民の方にご参加いただきました。

口の中でも老化現象が起こっています!!

- 唾液が少なくなる
- 歯ぐきがやせて歯がもろくなる
- あごや舌の機能が低下する
- 口の中が汚れやすくなる
- 嚙んだり、飲み込んだりしづらくなる
- 食べ物が美味しく感じられにくくなる

誤嚥性肺炎の発生率も高くなります!!

- 口の中の細菌などが誤って肺に入り誤嚥性肺炎を起こしやすくなります。

口の中の清潔を保つことは、肺炎を予防し、いつまでも美味しく食べるために必要不可欠なことです。今回の講座では、口の中を清潔に保つ方法として、効果的な歯磨きやうがいの方法、入れ歯の手入れの方法などについて講義を聴いていただくとともに、実際に口腔内保湿ジェルを使って、口の中の保湿を体験していただきました。また、高齢の方に多い誤嚥を予防するために、むせにくい食材やとろみ剤の使用方法、食事の際の姿勢の話や食事を介助する時の注意点も合わせて説明させていただきました。(図参照)みなさん、実習も積極的に参加してくださり、楽しく講座を開催することができました。

口から「美味しく食べる」ということは大きな楽しみであり、生きる意欲にもつながります。食べることで抵抗力がアップし、嚙むことで老化防止にもつながります。いつまでも美味しく食べて元気に過ごしましょう!!

このような格好でお食事をしていませんか? よけいに飲みづらく食べづらくなってしまいます。

●食事介助のポイント

- 同じ目の高さで介助する(首が後屈しないように)
- 水分をこまめにとる
- 何を食べるか声をかける
- 疲労の様子を見ながら(食事時間は30分程度)
- 食後は体を起こしておく
- 激しい咳やムセ、呼吸の変化があったときは中止する
- ひと口の量はティースプーン1杯くらいずつ
- のどがごっくんと動くのを確認してから次のひと口を入れる



● 実習(スポンジブラシで口の中をきれいにしているところ)



● 実習(むせにくいよう、とろみ剤でお茶にとろみをつけているところ)

臨床工学技士が語る 家庭用測定機器の正しい使い方 ～体脂肪計～

体脂肪計の罠

最近は大ダイエットのために体脂肪が計れる体重計が増えてきました。

体脂肪計の使い方を間違えるとダイエットに失敗してしまう大きな罠が潜んでいます。

その理由を説明する前に、体脂肪計の原理を簡単に説明します。

現在、体脂肪率や骨などの体組成測定の基本として広く用いられている方法がDXA法(二重X線吸収法)です。体組成計で出力されるデータは、このDXA法の測定値を基準に算出されています。

また、体水分量(TBW)は、重水(D2O)希釈法の測定値を基準に算出しています。重水希釈法は体水分量の測定に広く行われていて重水を体に投与し、その薄まり度合い(希釈率)より体水分全体を計算する方法で行います。

一般家庭用の体脂肪計では「生体インピーダンス測定法」という方法を使っています。

脂肪が多い体は電気が流れにくく、脂肪が少ないと電気が流れやすいという性質を利用したものです。体に微弱な電気(体には害のない)を流して、どれくらい流れるかを測定しています。

メーカーによっては数種類の周波数の電流を流して、脂肪ばかりでなく筋肉量を推計したり出来る機種も販売しています。

重要なポイントは、脂肪を直接測定しているのではなく、電気の流れ方を測定してDXA法や重水希釈法から得たデータを元に脂肪や水分の量を推量していることです。電気の流れやすさは、脂肪の量だけで決まりません。その時の体調によって変化します。それだけでなく、飲食、入浴も大きな影響を与えますし発汗やトイレの前後でも数値は変わります。

現在市販されている一般的な家庭用体脂肪計は両足に電極がある2点式(図1)と両手両足に電極のある4点式(図2)の2種類があります。

お勧め出来るのは、**両手両足で測定するタイプ**です。

2点測定式では両足間の抵抗を測っているため午後になると体の水分が下に行き抵抗値が変化してしまいます。

両手両足の4点式測定では何時測定しても全身の抵抗値を測定するので比較的安定した測定が出来ます。

両者を比較すると、2点式では朝の測定値に比べ夜では4点式より体脂肪率が約2%低値を示すこともあります。

例えば、体重50kg・体脂肪率20%の方では1kgもの脂肪量の誤差が生じてしまう場合があるのです。

誤差の少ない正しい測定法

より正確に測定するためには2点式でも4点式でもお勧めできる方法があります。

- 1 朝、決まった時刻に測定する
- 2 排尿をした直後に体重・体脂肪を計る
- 3 身長・年齢・性別を正しく入力する

こうした計り方をすれば誤差が少ないので、自分の体重と体脂肪率を正しく把握できます。誤差に気が付かず「増えた、減った」と振り回されるとせっかくダイエットに挑戦しても失敗してしまいます。

最後に、測定機器の正しい使用法は必ず同梱されている取扱説明書に記載されていますので熟読してから使用してください。

取扱説明書は必ず保管することをお勧めします。

測定をする前にチョッと読んで頭の体操をしてからの方が効果的かもしれませんね。

手軽に測定できる機器を正しく理解し健康な体を維持しましょう。



●図1 2点式体脂肪計



●図2 4点式体脂肪計

アンケート調査

結果をご報告します。



【表の見方】

「非常に満足」は3点、「満足」は1点、「やや、不満」は-1点、「非常に不満」は-3点として計算し、0点が平均値となっています。

前年度よりも数値が良くなったものはピンク、前年度よりも数値が悪くなったものはブルーの表示です。

● 外来患者様へのアンケート結果

平成22年 435人 平成23年 448人 平成24年 435人

	平成22年 435人	平成23年 448人	平成24年 435人		平成22年 435人	平成23年 448人	平成24年 435人
1-1 診察・治療内容	1.3	1.3	1.3	6-1 待合ロビーの広さについて	0.8	0.9	1.0
1-2 医師への質問・相談	2.2	2.1	1.9	6-2 待合ロビーの雰囲気・明るさ	0.9	0.9	1.0
1-3 医師の接遇・対応	1.8	1.8	1.7	7-1 トイレの清掃状況	1.2	1.2	1.2
2-1 看護師の対応	1.5	1.6	1.5	7-2 トイレの使いやすさについて	1.0	1.0	1.0
2-2 看護師への質問・相談	1.9	1.9	1.9	8-1 薬局(院外)の待ち時間	0.4	0.3	0.4
3-1 治療・検査の内容	1.4	1.4	1.4	8-2 薬局(院外)での説明	1.3	1.3	1.1
3-2 薬剤師・技師への質問・相談	1.7	1.8	1.6	9-1 院内の臭いについて	1.7	1.5	1.6
3-3 薬剤師・技師の接遇・対応	1.5	1.5	1.3	9-2 空調(冷暖房)・照明について	0.8	0.9	0.9
4-1 受付・会計の業務内容	1.6	1.7	1.5	9-3 玄関ロビーについて	1.2	1.2	1.1
4-2 受付・会計の接遇・対応	1.5	1.6	1.4	9-4 交通の便について	0.5	0.5	0.5
5-1 待ち時間について	-0.6	-0.5	-0.5	9-5 駐車場について	0.3	0.3	0.3

(単位:点)

Q. 院内に授乳できる場所がほしい。



病院1階に授乳室(赤ちゃんの駅)を設置いたしました。

Q. 院内表示看板が見にくい。



番号案内で見やすい表示看板に変更いたしました。

Q. 外来待合室が暑いのでなんとかしてほしい。



外来の全ての待合室において壁掛け扇風機を設置し改善いたしました。

Q. 洋式トイレの便座用敷紙が使いにくいので、便座クリーナーを設置してほしい。



便座クリーナーを設置いたしました。



Q. 外来待合室のいすを増やしてほしい。



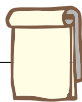
外来待合室用のいすを購入し、外来混雑時に対応出来るようにいたしました。

身障用駐車場のご利用のお願い

身体障害者用駐車場の利用は、身体の障害や病気により歩行が困難な方、車いすをご利用される方、骨折やけがなどで一時的に歩行が困難な方に限らせていただきます。

歩行や車の乗降に支障のない方は、一般駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。





今年6月から8月実施の患者満足度アンケート

●患者満足度調査について

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。当院では、患者様が1日も早くお元気になれるよう医療・看護に努めております。患者様の率直なご意見やご要望をお聞かせいただき、今後の病院づくりの参考にさせていただくため、外来及び退院された患者様へ無記名式アンケートを今年6月から8月までお願いしました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

●退院患者様へのアンケート結果

平成22年
110人平成23年
115人平成24年
113人

(単位:点)

1-1 診察・治療内容	1.7	1.9	1.6
1-2 医師への質問・相談	2.5	2.5	2.4
1-3 医師の接遇・対応	2.2	2.3	2.1
2-1 看護師の対応	1.9	2.2	2.1
2-2 看護師への質問や相談	2.5	2.6	2.6
3-1 受けている治療・検査の内容	1.7	1.7	1.6
3-2 薬剤師・技師への質問・相談	1.9	2.3	2.2
3-3 薬剤師・技師の接遇・対応	1.7	1.7	1.8
4-1 病室は清潔か	1.8	1.9	1.8
4-2 病室の雰囲気	1.7	1.6	1.6
4-3 病室内でのプライバシー	1.7	1.8	1.7

5-1 食事内容	1.3	1.3	1.1
5-2 配膳時間	1.9	2.0	1.8
6-1 入浴施設の快適さ	1.6	1.5	1.5
6-2 入浴時間や回数の満足度	1.4	1.4	1.3
7-1 トイレは清潔か	1.6	1.7	1.5
7-2 トイレの使いやすさ	1.2	1.5	1.3
8-1 院内の雰囲気	1.8	1.6	1.8
8-2 病院内の臭い	1.6	1.7	1.4
8-3 空調・照明について	1.6	1.4	1.5
8-4 病室・廊下の照明について	1.5	1.3	1.4

患者様からいただきましたご意見についてのご回答を掲載いたします。アンケートで低い評価をいただいた項目やご意見に対しましては、今後も改善に努めるとともに皆様から信頼され、皆様の健康維持に貢献できるような病院づくりの参考にさせていただきます。

Q. 会計窓口が2カ所あるが、混雑している時に片方の列だけが進んでしまうことがあるので改善してほしい。



まず一列にお並びいただき、空いた会計窓口の方に進んでいただけるようベルトパーテーションを設置いたしました。

Q. 再診受付機に診察券を入れると、診察券が受付票といっしょに飛び出してきてしまうことがある。



再診受付機を修理いたしました。現在は、このような現象は現れておりません。

Q. 問診票を書く時に、今日の日付が分かるようにしてほしい。

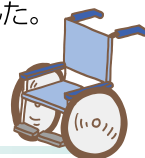


記載台にカレンダーを設置いたしました。

Q. 車いすが足りないのでもう少し増やしてほしい。



10台購入し中央出入口に7台と病棟に3台を配置いたしました。



Q. 特定初診料を負担する時には説明をしてほしい。



特定初診料を算定する場合には、各外来受付にて説明の用紙をお渡しするようにいたしました。

高校生一日ナース体験事業

7月26日に、看護師の仕事に興味を持っている高校生4名が参加して、「高校生一日ナース体験事業」が行われました。院内見学、救命救急法講習、病棟見学ではお互いの血圧を測ったり、自分の心臓の音を聴いたり、足浴など見学・体験しました。参加した高校生から「ますます看護師になりたいという思いが大きくなった」「看護師という夢が良いと思えた」などの感想がありました。私たちも、高校生の「真剣な顔」「満面の笑顔」に初心を思い出しました。ぜひ看護の道に進んで、患者様に素敵な笑顔で看護してもらえたらと思います。



●AEDの使用体験

湖西市職員採用試験案内(市立湖西病院職員)

平成25年4月採用の湖西市職員(市立湖西病院職員)を追加募集します。

1 職種、採用予定人員及び受験資格

職 種	採用予定 人 員	受 験 資 格
薬 剤 師	1人	昭和48年4月2日以降に生まれた人で、当該免許取得者又は平成25年3月末日までに行われる試験により当該免許取得見込みの人
看 護 師	4人程度	当該免許取得者又は平成25年3月末日までに行われる試験により当該免許取得見込みの人
看 護 補 助 者	3人	昭和57年4月2日以降に生まれた人
臨 床 工 学 技 士	1人	昭和48年4月2日以降に生まれた人で、当該免許取得者又は平成25年3月末日までに行われる試験により当該免許取得見込みの人
臨 床 検 査 技 師	1人	昭和57年4月2日以降に生まれた人で、当該免許取得者又は平成25年3月末日までに行われる試験により当該免許取得見込みの人
診療放射線技師	1人	昭和57年4月2日以降に生まれた人で、当該免許取得者又は平成25年3月末日までに行われる試験により当該免許取得見込みの人

2 試験日

日 時 ●平成24年12月10日(月)

会 場 ●市立湖西病院 2階講堂(湖西市鷺津2259番地の1)

3 受付期間等

(1) 受付期間 平成24年11月1日(木)～11月26日(月)〔土曜日、日曜日及び祝日を除く〕

(2) 受付時間 午前8時30分から午後5時15分まで【時間厳守】

(3) 提出先・送付先 〒431-0492 湖西市吉美3268番地 湖西市役所 総務部 総務課 人事係

詳細は湖西市ホームページ及び病院ホームページに掲載しています。ご不明な点はお問い合わせください。

問合せ先

●湖西市役所 総務部 総務課 人事係 ☎053-576-1698

●市立湖西病院 管理課 ☎053-576-1231

第4回 市民健康講座開催のお知らせ

講座名 「こどもの急変時 こんなときどうする？」 講師 ●小児科医師 夏目 博宗

日 時 ●平成24年11月24日(土)受付 午後1時から

場 所 ●市立湖西病院 2階講堂

対象者 ●どなたでも参加できます(先着50名)

参加を希望される方は、お電話でお申し込みください。

11月16日(金)まで受け付けております。

申込先 ●市立湖西病院 ☎053-576-1231

